



みどり

第7号 令和7年11月7日



目指す児童像 ◇学び合う子 ◇思いやる子 ◇きたえる子

【緑小HP】

下野市立緑小学校 鈴木 寧子

～ 元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子 ～

<「元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子」を目指して～>
盛りだくさんの秋、成長の秋です

後期の開始からあっという間に1ヶ月あまりです。1、2、3年生は楽しみにしていた遠足がありました。バスを見送っているといつも窓からは満面の笑顔で手を振ってくれる子供たちの姿があります。そして、毎回「楽しかったー！」とちょっと眠そうに目をこすりながら笑顔いっぱい学校に帰ってきます。そして、11月1日(土)には運動会が実施されました。保護者の皆様のご協力と地域の皆様のご理解のおかげでとても充実した素晴らしい運動会になりました。当日を迎えるまでに子供たちは何週間も前から話合いや練習をして準備を進めてきました。子供たちの顔つきが徐々に変わってくるのがわかりました。「自分たちの手でこの運動会を成功させるぞ」「自分たちが主役だ」という熱い思いが伝わってきました。各クラスから出された意見を大切にしながら、実行委員さんたちが考え抜いて決めたスローガン「勝利の風を巻き起こせ! ぼくらがつなぐ新たな歴史」。当日はそんな緑小全員の思いや考えが詰まったスローガンの下、子供たちは新たな歴史をつなぐ素晴らしい姿を見せてくれたと感じました。開閉会式に臨む真剣な表情、必死にゴールを目指す一生懸命な走り、音楽に合わせて体全体で表現する姿、友達を応援する声、係の仕事に取り組む頼もしい様子、そしてはじける笑顔。どこを切り取ってもかけがえのない瞬間の連続で胸が熱くなりました。



行事は通常の学校生活ではない、非日常の環境での生活や活動です。当日お友達と仲良く協力したり、困っているお友達や1年生に優しくできたり、お話を黙って聞くことができたり、お世話になった運転手さんや係の人にあいさつできたり、時間を守ることができたり、ゴミを片付けることができたり、全力を出し切ることができたり、お互いに称え合うことができたり・・・たくさんの「できたこと」はこれまでの学校やお家での生活で身に付けたこと、頑張ったことです。その日だけちゃんとできるわけではありません。日頃から心掛けていたり、努力したり、正しい行いができるようになっているからです。だから、非日常のわくわく(高揚)とドキドキ(不安)が交錯する場面でもちゃんと正しく気持ちのよい行動ができるのです。それが成長です。子供たちは行事を通していつも大きく成長してくれます。引率の職員やお世話になった施設や担当の方から子供たちが立派な態度だった様子を聞くと、とても嬉しく子供たちを誇らしく思います。子供たちが考えながら活発に活動している姿はとても頼もしいです。子供たちが自分たちで考えて活動するには、時間も要しますし失敗もあるかもしれません。でもそれ以上に大きな成長につながるものだと考えています。

これからも、日常と非日常を繰り返しながら学校生活は続きます。今後遠足を控えている学年や持久走記録会もあります。ぜひ子供たちの姿を通して、これまでお子さんが頑張ってきた様子や日常の活動をお伝えすることができたらと願っています。引き続き、行事はもちろん様々な機会を通して子供たちの主体的な活動を支援成長につなげることができるよう努めてまいります。今後も子供たちを温かく見守っていただきますと幸いです。よろしく願います。

緑小の成長の秋は深まっています。

「いいところさがし」にご協力を...

校長室前には「自分っていいなを教えてポスト」

が今年も置いてあります。今年は自分だけでなくお友だちのいいところも見付けられたらと、継続してポストに子供たちからのメッセージが届くのを楽しみにしています。そこで、今年度もご家庭や地域の皆様にご協力いただけたらと考えました。「お子さんや緑小児童のいいところ」をぜひ教えていただきたいと思います。ご協力いただける場合は、右のQRコードを読み込んでいただき、お子さんや緑小児童の良さとお子さんの学年を記入しご返信ください。お名前の記入は任意です。ぜひお気軽にご協力ください。いただいたメッセージは後日子供たちに紹介させていただきたいと思います。よろしく願います。心が温かくなるお話を1つ。運動会が近付き、校庭での練習も始まった頃。地域の方から「運動会はもうすぐですか。いいですね。子供たちの元気な姿は。本番はお天気がいいといいですね。」とお声かけ頂きました。何気ない会話でしたが、改めて子供たちが地域の方々から温かく見守って頂いていることが伝わり心がほんわか温かくなり、とてもありがたく嬉しくなりました。感謝です。改めてこれからも学校が地域の皆様にも愛される存在であり続けなくてはと思いました。



<目指す児童像:きたえる子(生き抜く力の育成)を目指して～みんなが笑顔～>

いじめ防止強調月間

6月号でもお伝えした通り、11月は6月に続き2回目の「下野市いじめ防止強調月間」です。「①いじめは絶対ダメ!の再確認をしよう。」「②いじめを生まない温かい学校の雰囲気高めよう。」の2点が南河内第二中学校区の共通理解事項です。昇降口には昨年度、二中学区3校の代表の子供たちで考えたスローガン「**お互いの個性を認め合い 笑顔の花を咲かせよう**」が掲示され、子供たちを見守っています。今回も全ての学級で「学級力アンケート」を実施します。アンケートの結果から自分達の学級の「良いところ」に目を向け、前回の結果との変化を確認したり、良さを生かしてよりよい集団をつくるための手立てや更に良さを伸ばす工夫などを話し合ったりします。12月には人権旬間を設定しています。今年度は人権擁護委員の方が来校下さり、代表の児童と「いじめがなく、みんなが仲良く学校生活を送るために」をテーマに意見交換会を実施する予定です。また、他にも「いじめ防止に関する標語」をクラスみんなで話し合っ作成する計画もあります。様々な視点や立場から「いじめ防止」について真剣に考えさせ、子供たち一人一人の心の中に「いじめは絶対にダメ。許さない。」という思いを持ち続けられるよう繰り返し指導してまいります。日頃からいじめの未然防止に向け意識を高め、子供たちが安心して安全な学校生活を送ることができるよう努めてまいります。子供たちが多くの友達と様々な活動を通して生活する中では、いじめに限らずトラブル等が「ゼロ」になることは困難なことだと考えています。それを踏まえて、注意深く見守り、根気強く指導を重ねてまいります。ご家庭でも、この機会に「いじめ防止」について話題にいただけると幸いです。

<つながりのある学校を目指して～みんなが笑顔～>

二中学区小中連携推進中

11月は小中が連携して実施する活動が多く設定されています。11月6日(木)には二中の3年生が合唱コンクールで歌った歌を聴かせにきてくださいました。最後に中学生と一緒に「ありがとの花」を歌っているときの子供たちの表情はとても嬉しそうでした。また、二中の定期テストの日程に合わせて家庭学習強調週間が11月8日(土)から11月14日(金)に設定されています。期間中は「記録カード」への記入を行います。「めあて」の欄を設けて、いつも以上に計画的・意欲的に家庭学習に取り組んでいくよう呼びかけていきます。ぜひ、ご家庭でもお子さんの家庭学習での頑張りを認め励ます機会として生かしていただきますとありがたいです。また、11月は二中学区体力向上「からだWEEK②」となっています。その取組の中で、体育チームは12月に実施予定の持久走記録会に向け、子供たちが無理なく体をならしながら取り組めるよう計画的に練習を始めます。給食チームは11月10日(月)～16日(日)には「朝ごはんを毎日食べよう週間」を実施します。保護者の皆様には最終日に、チャレンジカードへのコメントの記入をお願いしています。保健チームも委員会活動と連携した取組を予定しています。このように校内でも担当同士が協力して進めていけるよう活動内容を工夫して取り組んでいます。さらに、11月18日(火)には、南河内第二中学校区合同クリーン活動を実施予定です。自治会の回覧板でもご案内があったかもしれませんが、お時間の都合がつかましたら、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。活動前には中学生と一緒に楽しみの時間があります。どんな遊びをするかは小学生が既に話し合っています。このように今月は小中連携強化月間のように活動がたくさんあります。でもどの活動も特別なものではなく日常の学習や生活の延長にあるものだと思います。これからもこのように3校が協力して、ご家庭や地域のみなさんのお力添えをいただきながら、子供たちの成長を支えていけたらと考えています。

<目指す児童像:学び合う子(確かな学力の育成)～輝くひとみ～>

「考えを深める、広げる」について

今年度は対話を通して様々な意見に触れる中で自分の考えを再構築する力を育成しようと研究を進めています。そこで、先日子供たちが自分の考えを深めた姿、考えが広がった姿について改めて職員研修で考えました。子供の思考の過程を可視化して自覚させるには様々な手立てが必要です。例えば、「お友だちの意見を聞いてなるほどと思ったことや自分の考えに付け加えたいことがあったら青で書く」ことや「自分の考えを線で結んで広げていく(ウェビング)」などの工夫をよく授業の中で見かけます。また、下野市で今年度試験的に導入している新しい学習支援ソフトを使いながら、お友だちの考えや意見を参考にしたり、共有したりして自分の考えを深めたり広げたりしている様子も見られます。授業を見ていて、そのように子供たちの学びが深まった場面や広がっていく流れを実感する時、子供たちは学ぶことに喜びを感じわくわくしていることがわかります。瞬時にクラス全員の意見を確認することができるのがデジタルの強みです。自分と同じ考えや違う意見をすぐに見付け自分の考えと比較することができます。また、直接言葉を交わしながら、意見を交流したり、先生が児童の発言やつぶやきを拾いつなげやり取りをしながら黒板に書いたりしてみんなで考えたり共有したりする、これはアナログの良さです。このように学び方は多様です。それぞれの良さや強みを生かして、組み合わせることで授業の質の向上に努めていくことが重要だと考えています。それが今求められている個別最適な学びへとつながると考え、これからも学校課題研究を推進してまいります。

<お知らせとお願い>・11月17日(月)から6年担任が育児休業から復帰します。その間お世話になった先生

生がご退職になります。子供たちのわくわくを引き出す楽しい理科の授業で大変お世話になりありがとうございました。ご家庭のみなさまにもご理解ご協力いただきありがとうございました。

～地域の皆様～

先日は運動会を実施し、12月は持久走大会が実施予定です。校庭での練習が続き放送等でご迷惑をおかけしています。ご理解ご協力いただき感謝申し上げます。今後もよろしくお願い致します。

引き続き本校のHPを時折のぞいてみてください。 http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/midori/index.html

